

すぎなみ大人塾の運営

1.学習方法 - 相互学習の場として「講義」と「討議」を織り交ぜて行う-

- 講義** ○参加者の積極的な発言を促す誘い水として開く
○ゲスト講師による講義や講義記録はできるだけ公開し、HP上の議論も可能とするなど、塾生以外の「気付きの場」としても位置づくよう検討していく。
- 討議** ○参加者が主体的に運営し、参加者のレポートと学習支援者の助言（学び方、情報、方向性など）によって進める。
○個人の課題等を明確にするため、シート作成などの手法も取り入れる。
- 発表** ○両コースの成果を報告し合い討議するとともに、今後、広く発信していく方策をさぐる。
- 自主ゼミ** ○参加者の自主運営とし、世話人を数名決めておく
○講義・討議記録を皆で読み直す、ニュースを作る、地域実践の計画をたてる、などを想定する。

2.塾の運営 - 役割とそれぞれの内容 -

- アドバイザー・・・専門的な観点から、今後の大人塾の方向性やPR等の面で助言する。
学習支援者（ ）・・・テーマに基づきながら参加者の意見や考えを引き出し、塾を進めていく
学習支援補助者（ ）・・・参加者のまとめ役として、杉並情報提供者として、学習支援者を補助する。
ゲスト講師（ ）・・・学習を深めるための専門的な知識・視点を提供してもらう
大人塾参加者（ ）・・・30名程度の継続参加者を想定。自発的・主体的な関わりを期待する。
ゲスト講師による講座のみの参加者（○）・・・単発での気軽な参加動機・学習意欲を尊重する。

